

# ap

hokuren  
agriport

**12・1**月号  
2024-2025  
VOL.52



Webでもご覧  
いただけます

環境を守ること  
で利益を生む

# 農業の新たな価値「環境」



View  
Point

あの人の  
ビュー  
ポイント

View Point

## 師匠と出会い、 年間13万本のユリ農家に

当別<sup>き</sup>花卉生産組合 副組合長 ユリ農家 齊藤 義也

10年近く運送業をやっているうちに、自分から何かを発信するよ  
うな仕事をしてみたいと農業に関  
心を持つようになりました。配達  
先の農家さんや友人たちに「農家  
に興味がある」と言ってみて  
いるときに「じゃあ、休みのとき  
にうちを手伝ってみるか」と声  
をかけてくれたのが、のちに師匠  
となる畑清さんでした。もし畑  
さんがユリを作付けしていなかつたら、  
今の自分はいなかったはず。本  
当に出会いに恵まれたスタート  
だったと実感しています。

当別は北海道一のユリの出荷量  
を誇る産地であり、畑さんはと  
ても品質の高いものを作ってい  
ました。研修時代のことです。台  
風に備えて何棟ものビニールハ  
ウスを全て丁寧に補強する畑  
さんが「俺にできることは全  
部やった。あとは天命を待つ  
だけだ」と言っていた姿は、  
今も覚えています。やるもや  
らないも自分次第なんだと、  
そのときに教わりました。

また、独立するときにも農家の  
友人が不要になったハウスを譲  
ってくれたおかげで、初期投資  
を低く抑えることができました。  
こんなふうにと人のつながりや  
助け合いで、ここまでやってこ  
れたという思

## contents

### 特集 環境を守ることで利益を生む 農業の新たな価値「環境」

- 03 Jークレジットの基本  
Q&AでわかるJークレジット
- 09 Jークレジットをつくるサポート  
取り組みやすい方法論 中干し期間の延長に注目
- 11 Jークレジットをつくる・サポート・買う・使う  
環境配慮を商品価値にした玉ねぎ「環」

- 13 道産品のカタチ  
株式会社オホーツククリーンミート  
「おこっぺハム ベーコン」  
生産者の努力にこたえる  
乾塩製法ベーコン

- 15 よくわかる 酪農畜産のSDGs  
自給飼料の活用で環境を守り、  
コストダウン（コーンサイレージ多給）

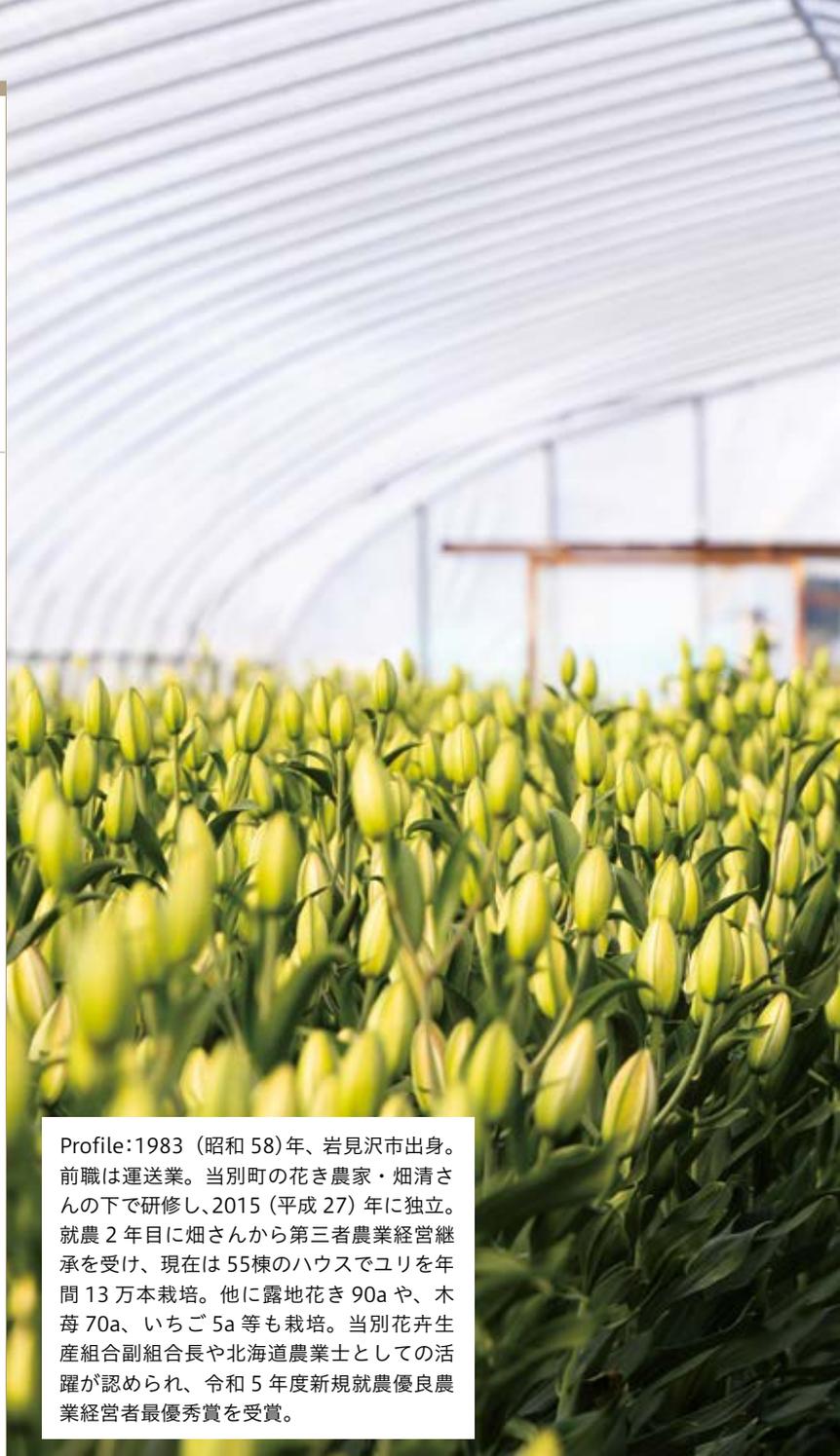
- 17 実例で学ぶ達人の知恵  
畑を観察し、積み重ねた実践が成果に

- 19 ホクレンくみあい飼料株式会社  
枝肉勉強会  
販売先の拡大までを意識し  
北海道の和牛生産にさらなる発展を

- 23 情報CLIP
  - ホクレン訓子府実証農場の視察・研修の受入れ状況
  - 農業コスト低減に  
「直送大型規格」と「ジェネリック農業」
  - かぼちゃつる切りデバイダー（KC-1400P）の  
販売を開始しました

- 28 これって何デスカ？  
「心土破碎」とは何ですか？

- 29 Agri Square
  - 読者の皆さんからの声 ●アグリポーターREPORT
  - 読者アンケート ●アグリ・フォト
  - 農業なんでも川柳 ●読者プレゼント



Profile:1983（昭和58）年、岩見沢市出身。前職は運送業。当別町の花き農家・畑清さんの下で研修し、2015（平成27）年に独立。就農2年目に畑さんから第三者農業経営継承を受け、現在は55棟のハウスでユリを年間13万本栽培。他に露地花き90aや、木苺70a、いちご5a等も栽培。当別花卉生産組合副組合長や北海道農業士としての活躍が認められ、令和5年度新規就農優良農業経営者最優秀賞を受賞。

いがあります。自分も新規就農希望者の受け入れや栽培マニュアルの刷新などを通じて、新しい担い手を少しでもサポートできたらうれしいです。

ユリの繁忙期は7月から11月まで。それ以外の時期も収入につながりたくて、2020年からうちの子が好きな、いちごの栽培を始めました。目の肥えたJAの花弁担当者にユリの出来を褒めていただいたときと同じように、いちごも良いものが出来たときは苦労が報われると思います。これからも自分がやれることはやり、楽しみながら農業に向き合っていきたいです。

# Q1 ニュースなどで取り上げられる カーボンクレジットって何？

## A 温室効果ガス排出削減量を売 買できる仕組みの事です

カーボンクレジットとは「温室効果ガス排出の見込み量」と「排出量削減により減った排出量」との差をクレジット化することで「排出削減量」として売買できるようにした仕組みのことです（図1）。農業の場合、生産者は温室効果ガス削減に取り組むことでクレジットを創出し、温室効果ガス排出量削減が必要な企業へ販売。企業はこれを購入することで、購入分の排出削減量を自社の排出削減量として埋め合わせます。生産者は販売したクレジットの価格に応じて収入を得ることができます。

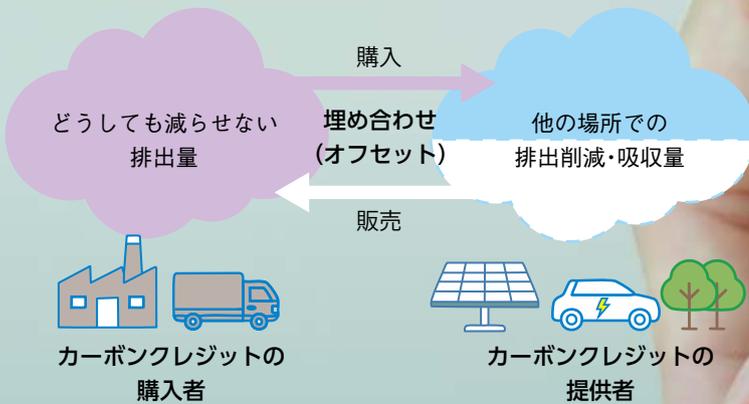
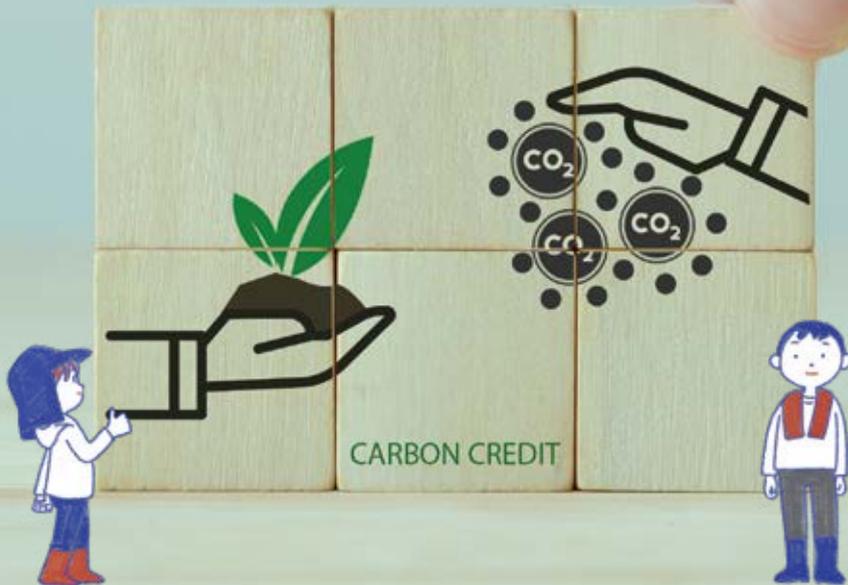


図1. カーボンクレジットの概要



温室効果ガスの削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証するJ-クレジット制度。実際に農業でどのように取り組まれているのか、北海道農政部の三宅主査に基礎から教えてもらいました。



J-クレジットの基本

## Q&Aでわかる J-クレジット



北海道農政部 食品政策課  
みどりの食料システム戦略室  
主査 三宅 真人

脱炭素社会へ向けてさまざまな試みが行われる中、注目されているのがJ-クレジットの取り組み。温室効果ガスの排出削減量を売買できるJ-クレジットの仕組みは、農業分野においても徐々に広がっています。環境に貢献することで新たな収入源にもなるJ-クレジットについてレポートします。

環境を守ることによって利益を生む

# 新たな価値「環境」

## Q2 最近よく聞く J-クレジットはカーボンクレジットなの？

**A** 国が主導する信頼性の高いカーボンクレジットです

カーボンクレジットには、国連が主導するものや、国際間取引ができるボラントリークレジットなど、いくつかの種類があります。

J-クレジットはそうしたものの一つで、環境省・経済産業省・農林水産省によって運営されています。省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用、適切な森林管理などによる温室効果ガスの排出量削減・吸収量増を「クレジット」として国が認証し、取引できるようにした制度です。創出されたクレジットは、企業や自治体などが買い取り、温室効果ガス削減目標達成や環境への取り組みに対するPRなど、さまざまな用途で活用できます。

### J-クレジット誕生の背景

1997年開催の「地球温暖化防止京都会議」で採択された京都議定書により、日本政府は温室効果ガス削減目標を定めました。その目標達成のために日本政府は法律の整備、温室効果ガス排出量の報告を義務付けるなど、さまざまな施策を実施。環境省ではその一環として、カーボンクレジットによる排出量削減「J-VER」を2008年に開始しました。J-VERは京都議定書の目標に対し約83%達成という成果を上げ、2012年度で終了。その後、国内にあった他のカーボンクレジットを発展的に統合し、2013年にJ-クレジットが誕生しました。

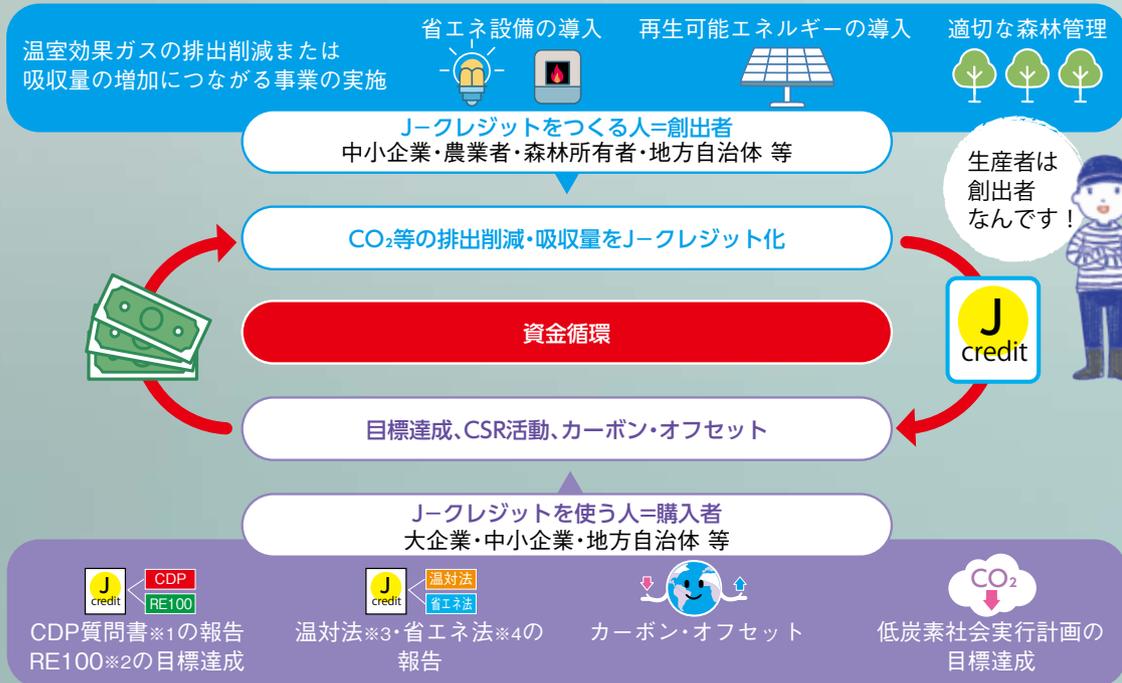


図2. J-クレジット制度の概要

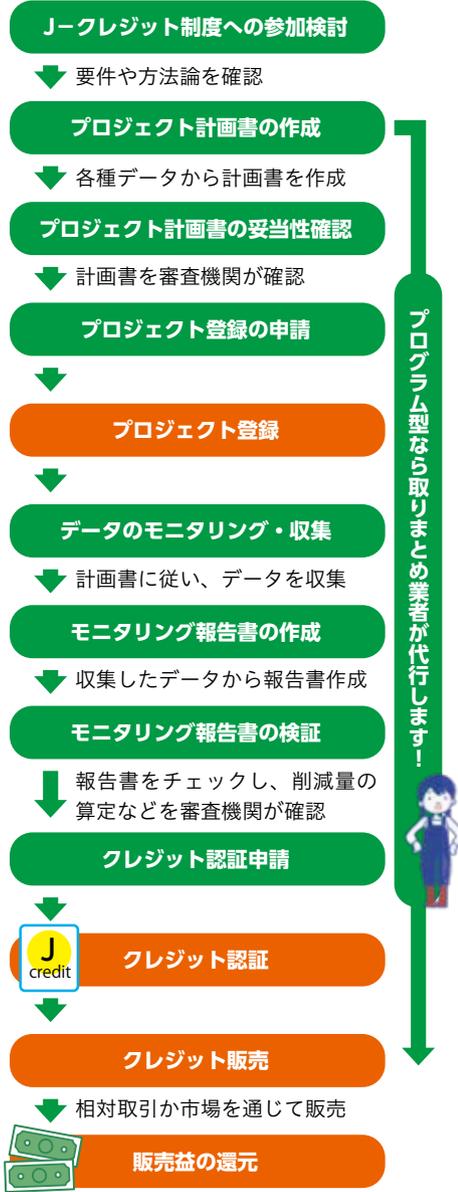
- ※1：国際的な非営利団体 CDPが、世界の主要企業はどのような環境活動を行っているのか、質問書をもとに情報を収集・分析・評価している。評価は CDP スコアとして開示されるため、高いスコアを取れば環境意識の高い企業としてアピールできる。
- ※2：「Renewable Energy（再生可能エネルギー）100%」の略で、企業が事業活動において使用する電力を 100% 再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的な取り組みのこと。
- ※3：「地球温暖化対策の推進に関する法律」の略。
- ※4：「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」の略。



# 農業の

# Q3 生産者が J-クレジットを「つくる」ためにはどうすればいいの？

図 4. J-クレジット創出から販売までの流れ



まず計画書の作成、妥当性の確認、申請を経てプロジェクト登録を行います。登録後、J-クレジット制度で規定されている「方法論」に基づいた取り組みを実施し、各種データを収集。収集データから規定に合わせた申請書類と証拠書類を作成して、制度事務局に提出しなければなりません。その後、第三者機関のチェックを経て、有識者で構成される認証委員会が認証するとクレジットを創出できます。



図 3. J-クレジットのプロジェクト登録形態

生産者・事業所単位で取り組み、認証してもらう「通常型」は申請が難しく、審査費用や登録費用も高額。取り組みの認証を受けるために大学や大企業などのサポートが必要なケースもあります。創出されたクレジットの管理や、販売先企業への営業といった業務負担も発生します。専門知識やネットワーク、資金や時間が求められるので、全てを生産者が単独で行うのは負

担が大きいと考えられます。一方、「プログラム型」は取りまとめ事業者が管理や申請手続きを生産者に代わり実施。各生産者の削減活動を取りまとめ、一括でクレジットを創出します。手数料がかかるものの、小規模な削減活動からもクレジットを創出でき、登録や審査にかかるコストや時間を削減。生産者は実施した取り組みの情報やデータを、取りまとめ事業者に Web 等を通じて提出するだけで済みます。また、多くの生産者が参加してクレジットを大きくすることで、販路を確保できるなど、プロジェクト登録形態といえるでしょう。

**A** **まずはプログラム型で取り組みを考えましょう**

# Q4 J-クレジットの方法論って何？ どんなものがあるの？

A

規定された方法論で取り組みごとでクレジットが創出できます

温室効果ガス削減・吸収になる取り組みならば、何でもクレジットを創出できるというわけではありません。

J-クレジット制度では「温室効果ガス排出削減・吸収量の増加につながる」と認められている技術ごとに、適用範囲や排出削減・吸収量のモニタリング方法などを「方法論」として規定。クレジット創出のためには「方法論」に基づいた温室効果ガスの排出量削減・吸収量増に取り組み、規定に合った申請書類と証拠書類を作成して制度事務局に提出します。

制度全体で70の「方法論」が承認されており、農業分野では六つあります（表1）。その中で、北海道では現在三つの「方法論」によるクレジット創出が実践されています（2023年11月現在）。

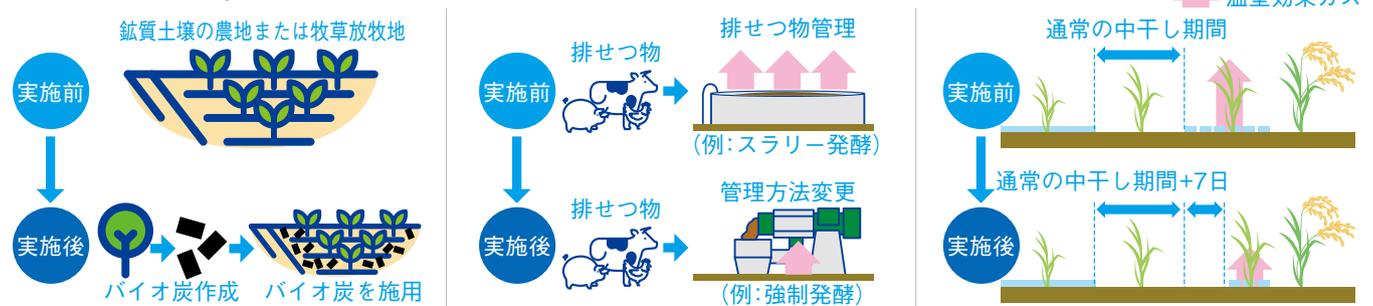
2023年に追加された「水稻栽培における中干し期間の延長」のように、取り組みやすい新たな「方法論」が今後、追加されることが期待されます。



表 1. 農業分野の方法論

方法論	内容
牛・豚・ブロイラーの amino 酸バランス改善飼料の給餌	家畜にアミノ酸バランス改善飼料を給餌し、排せつ物管理からの一酸化二窒素排出量を抑制
家畜排せつ物管理方法の変更	家畜排せつ物の管理方法を変更することでメタン及び一酸化二窒素の排出量を抑制
茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥	茶園に施用する窒素肥料を硝化抑制剤入りの化学肥料または石灰窒素を含む複合肥料に代替することで、土壌からの一酸化二窒素の排出量を抑制
バイオ炭の農地施用	バイオ炭を農地に施用することで炭素を土壌に貯留
水稻栽培における中干し期間の延長	中干し実施期間を従来よりも延長することで、土壌からのメタンガス排出量を抑制
肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌	肉用牛に、バイパスアミノ酸を加えた飼料を給餌することで成育を促進し、従来よりも肥育期間を短縮することにより、枝肉重量あたりのメタン及び一酸化二窒素排出量を抑制

図 5. 道内で創出された J-クレジットの例



### バイオ炭の農地施用

木材やもみ殻、家畜糞尿などを酸素が少ない状態で 350℃超で加熱して作られるバイオ炭。木材やもみ殻が分解されて発生する二酸化炭素を炭にすることでため込むことができます。このバイオ炭を農地に散布・施用することで土の中に二酸化炭素を貯留してクレジットを創出します。

#### J-クレジットに認証される条件

- バイオ炭の製造過程や原料の証明を提出。
- バイオ炭の散布量、散布する土壌に関する資料を提出。

#### J-クレジット創出量

バイオ炭の原料や製造・運搬・散布過程で使った燃料やエネルギーによって変化。

### 家畜排せつ物管理方法の変更

スラリーとして貯留している家畜糞尿を固液分離器により、固体と液体に分離。分離された固体分を数日から数週間強制発酵（空気と触れ合わせる好気性発酵）させることで、スラリーとして貯留した場合に比べて、温室効果ガスの発生量を削減し、クレジットを創出します。

#### J-クレジットに認証される条件

- 家畜の糞尿を固液分離機で分離し、強制発酵させます。
- 管理方法の変更前後の生産管理記録や家畜の出荷記録、家畜排せつ物管理方法が分かる資料などを提出。

#### J-クレジット創出量

管理方法の変更前後で温室効果ガス削減量を計算。

### 水稻栽培における中干し期間の延長

水稻の中干しには土中にある嫌気性菌（酸素の無い環境で活動する菌）のメタン生成菌の働きを抑え、メタンガス発生を削減する働きがあります。中干し期間を従来より延長し、温室効果ガスの削減量を増やすことでクレジットを創出します。

#### J-クレジットに認証される条件

- 直近2カ年以上の実施日数の平均より7日以上中干しを延長。
- 中干しを規定通り延長したことがわかる証拠写真や生産管理記録などを提出。

#### J-クレジット創出量

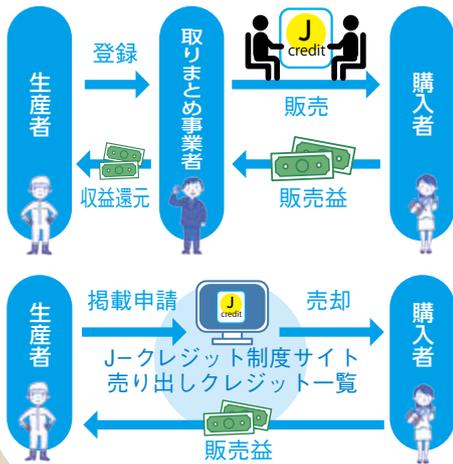
圃場の排水性、稲わらのすき込みや堆肥施用の有無によって変化します。

## Q5 Jクレジットはどうやって売られ、誰が購入するの？

**A** 農業の場合は主に企業や自治体などに販売されます

創出されたクレジットの販売方法は大きく分けて2種類。①仲介業者を通じた販売や制度事務局等のWebサイトでの販売、②大量に創出されたクレジットなら東京証券取引所での取引も可能です。農業分野は創出量が少ないため、ほとんどのクレジットは企業へ個別に販売されています。生産者が制度事務局のWebサイト等を通じて販売することも可能ですが、手続きが煩雑なため、取りまとめ事業者を利用した取引が中心です。

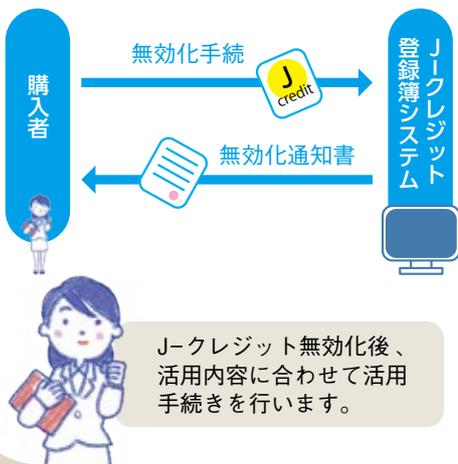
企業へ個別に販売する場合、Jクレジットの価格は企業との取引の中で決まります。東京証券取引所のカーボンプレジット市場で取引されるJクレジットはニーズに応じて価格が変動します。



## Q6 何のためにJクレジットを購入するの？

**A** 今は企業のブランディングが中心になっています

クレジット購入のメリットとして、企業や自治体は温室効果ガス削減実績を通じて環境問題へ取り組み姿勢をPRできます。ブランドイメージのアップや商品の差別化に活用しています。購入したクレジットを使うためには、Jクレジット登録簿システムで購入したクレジットの「無効化」手続きを実施します。無効化内容の申請により、削減量を認めてもらい、温室効果ガスの削減などに活用します。なお、創出内容によってJクレジットの価格は変動しますが、これは購入する企業の「PRしたい内容」に影響されている部分もあります。



Jクレジット無効化後、活用内容に合わせて活用手続きを行います。

## Q7 生産者はJクレジットの取り組みをアピールできる？

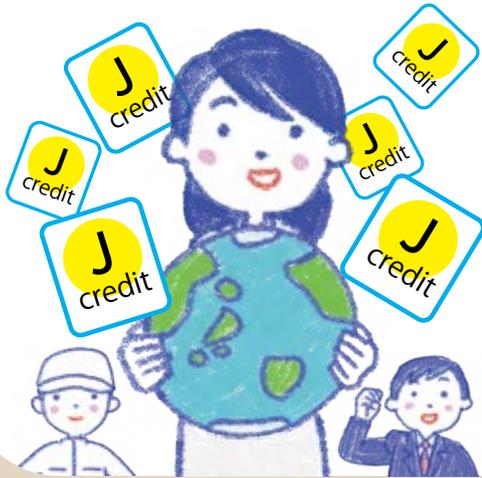
**A** 温室効果ガス削減はアピールできません

Jクレジット創出を通じて生じた温室効果ガスの削減・吸収量はクレジットとして売却されると、権利は購入者に譲渡されるため生産者が自ら「温室効果ガスを削減しました」とPRすることはできません。ただし、クレジット創出を通じて温室効果ガスの削減・吸収に貢献していることを表示することは可能です。表現に注意が必要なもの、環境に配慮していることをパッケージなどに印刷し、商品を差別化できます。具体的な表示内容については、取りまとめ事業者に確認するのがいいでしょう。



## Q8 これから J-クレジットは どうなるの？

**A** J-クレジット制度の影響  
が大きくなるでしょう



2030年や2050年を節目に国際公約実現へ向けて、世界各国が一層の温室効果ガス削減を行う必要があります。日本でも、農業だけでなく全産業で温室効果ガス削減への取り組みがこれまで以上に求められるようになるでしょう。

そうになると、J-クレジットを含むカーボンクレジットの取引は活発化すると予想されています。

J-クレジット制度の拡大は温室効果ガスの排出削減・吸収に寄与するだけにとどまりません。クレジット売買による新たな経済活動の創造、農林漁業の振興や地域の活性化への効果も期待できます。

## Q9 生産者として何から J-クレジット を始めるのがいい？

**A** 知識や経験を聞き、情報収集から始めましょう

まずは知ることから始めましょう。北海道では、地域の生産者やJA、市町村と連携して、クレジットに対する理解促進と普及に向けた実証事業を行っています。また、「北海道カーボンフォーラムや地域における勉強会を開催。メールマガジンを活用した取り組み事例の紹介や情報提供をしています。要望があれば地域での説明会も開催しています。

地球温暖化への取り組みがますます重要になる中、これからの営農に環境への配慮は欠かせません。J-クレジットで、経営的に大きな利益になる取り組みはまだ少ないですが、現在、取り組みやすい「方法論」を追加するために研究・検証も進んでいます。環境負荷軽減に取り組みつつ、利益にもなるJ-クレジットの取り組みに今後、注目してください。

お問い合わせ先

北海道農政食品政策課

みどりの食料システム戦略室

011-204-5226

農林水産分野のJ-クレジット制度  
(農林水産省 HP より)



分かりやすい  
動画による解説が  
おすすめ！  
ぜひご覧ください。



J-クレジット制度紹介動画「Jクレやってみた！」  
や農業に特化した資料をダウンロードできます。

J-クレジット制度 HP



J-クレジットの  
概要や資料など  
基本知識はここから  
ゲットしよう！



J-クレジット制度についての基本情報が分かり  
やすく解説されています。

## 取り組みやすい方法論 中干し期間の延長に注目

2023年に追加されたJ-クレジットの方法論「水稻栽培における中干し期間の延長」。新たな作業負担や導入機器が無いことから、取り組む生産者が増えています。

取り組みを始めたJAきたそらちと取り組みを推進するホクレン米穀総合課に話を聞きました。



JAきたそらち  
農業振興部 振興課  
課長 廣田 淳さん



### J-クレジットをつくる

#### JAきたそらちでは 今年約50人が申請

JAきたそらちでは2024年からJ-クレジットの取り組みを推進しています。あくまで申請するのは生産者本人で、JAは支援の立ち位置に徹しました。3月の段階で申請の希望を出した水稻生産者は約70人、実際にJA経由で9月末までに申請したのは約50人。面積にして約1000ha、水稻全体の1割ほどに当たります。

実際の申請支援は日程を決めて、何回かに分けて行いました。パ  
ソコンに慣れていない方には、JA職員がマンツーマンで対応しました。耕地のデータや減水深（田んぼの水持ち）のほか、中干しの開始時と終了時の写真撮影、登録作業と、多少手間はかかりますが、今回データを登録してしまえば、来年からの申請は楽になると思います。

中干し期間の延長により、過剰乾燥による根の障害や冷害に対するリスクがあることは、あらかじめ皆さんに注意喚起しました。実際に、中干しの途中で田んぼのひび割れがひどくなり、不安だからと水を入れ  
て、申請を取りやめた方もいました。なお、米の収量や品質に影響が出さうであれば、中断して水を入れても、当該年のクレジット収入は得られませんが、ペナルティなどはありません。当初はこれだけの人数が申請するとは想定していませんでした。「少しでも収入につながるのなら」という方が多かったと思います。現時点で販売益はまだ分かりませんが、環境負荷低減した上で副収入も得られるなら、中干し期間の延長によるクレジット創出に参加したいという人が、今後増えていくと思います。

図1.J-クレジットのスケジュール

6～7月 データ登録

▼ データ登録、中干しの期間の写真撮影

9～10月末 必要な記録やデータを提出

▼ Green Carbon 社を経由して申請

12月末 認証機関で審査

▼

翌年 クレジット承認

▼ 承認後、企業などへ販売

売買成立後、販売益は手数料を引き生産者へ





水田に水を張ると、土の中のメタン生成菌が活発になり、温室効果ガスのメタンを発生させます。中干し期間の延長でメタン発生量を大幅に削減できます。

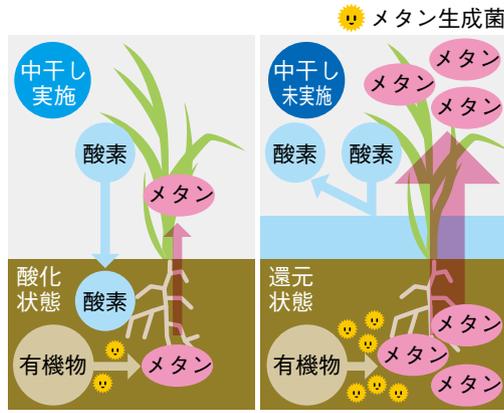


図3. 中干しのメタンガス削減効果

図2. J-クレジットの収益内容



**J-クレジットをサポート**

ホクレン米穀部米穀総合課

**中干し作業を記録して申請するだけで副収入に**

水稲の中干しを過去2年間の平均日数より7日間以上延長すると、J-クレジットを申請できると、法論が2023年にスタートしたことで、生産した米の収入のほかに、クレジットの販売で副収入が得られると、関心を集めています。

そこで、ホクレン米穀総合課ではまず、ゆめぴりかの生産者を対象に中干しの実施状況を調査。66%がすでに実践していることから、中干し期間の延長は、新たな作業負担なく収益につながる取り組みと判断。取りまとめ事業者のGreen Carbon株式会社(東



申請には中干しの開始時と終了時に撮影した、取水口・排水口・圃場全体の証拠写真を提出します。また、登録時には過去2年間の中干しの記録、稲わらの持ち出し量、堆肥の施用量などのデータ入力も必要になります。

京都港区)と連携し、JAや生産者向けの説明会を実施しました。

意向調査で2024年からJ-クレジットの取り組みに参加したいと回答したのは全道23JAで、生産者は519戸、面積にして8711haほど。全道の水稲面積は約10万1000haなので、全体の8%程度でした(2024年10月現在)。

取り組みに参加する生産者は、必要書類と写真を9~10月末までに提出し、取りまとめ事業者を通じて申請。認証機関が審査し、承認されれば翌年クレジット化。それから取りまとめ事業者が企業や自治体へ販売し、一定の手数料を引

いた金額が生産者の収入となります(図2)。

当事者同士で価格や数量を決める相対取引なので、販売額はまだ分かりません。また中干し延長で得られるクレジット量は、排水性の良し悪し、有機物施用の有無などを排出係数として掛けあわせるため、例えば泥炭地での取り組みのほうが多くなります。まとまった収益になるなら、取り組み人は更に増えていくでしょう。ホクレン米穀総合課では中干し延長のほかに、稲わらの秋すき込みや搬出を含め、環境負荷低減への取り組みを付加価値として打ち出していきたいと考えています。



Ｊ-クレジットをつくる・サポート  
買う・使う

## 環境配慮を商品価値に した玉ねぎ「環」めぐる

JAきたみらいは玉ねぎ生産量が日本一。全道の玉ねぎ生産の約4割を占めます。なかでも注目を集めているのは環境保全型玉ねぎ「環」。取り扱いを伸ばしています。



写真1. JAきたみらいで施用されるバイオ炭  
バイオマスを特別な燃烧方法で加熱してつくるバイオ炭。JAきたみらいは下川町で生産されているバイオ炭を購入しています。

作物残渣等をそのまま土壌に施用すると、分解されて温室効果ガスが発生しますが、「バイオ炭」として施用すれば分解されにくくなります。



JAきたみらい 販売企画部  
玉ねぎグループ・馬鈴しょグループ  
調査役 須河 秋久さん

### Ｊ-クレジットをつくる

#### 環境配慮を切り口に 農作物を差別化

北見市特別栽培部会では、圃場への木炭の施用が土壌改良だけではなく、温室効果ガスの隔離に有効だということで、2010年から木炭の施用を始めました。その後Ｊ-クレジット制度で「バイオ炭の農地施用」が方法論として承認されたことから、2022年秋からバイオ炭（写真1・2）に切り替え、Ｊ-クレジットの創出に取り組んでいます。

農作物の「安心・安全」が浸透していく中で、更なる差別化を図ろうと、ホクレン園芸開発課の協力を得て開発したのが「環」めぐるブランド化

### Ｊ-クレジットをサポート

#### 環境配慮の取り組みを ブランド化

北見市特別栽培部会で木炭のすき込みやカーボンオフセットに取り組んでいることを知り、ブランド化

### Ｊ-クレジットをつくる

ンドです。おかげさまで東海コープさんのような安定した供給先が確保できました。生産者側も自分たちのつくる玉ねぎが求められている実感を持てるので、生産意欲の向上につながっています。

JAきたみらいでは今、北見市特別栽培部会以外の部会でも試験的にバイオ炭の施用が始まっています。今後、「環」のような環境保全型商品が増えていけば、小売店でも「環境配慮の農作物コーナー」が設けられるようになるかもしれません。今はまだ認知度の低いＪ-クレジット制度ですが、SDGsがすっかり定着したように、今後、社会に広まっていくと思います。



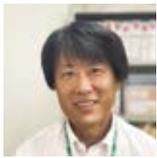


写真4. 東海コープの宅配カタログ  
組合員に配布する商品案内では「環」を選ぶことで環境保全活動に参加している実感を持ってもらえるよう工夫しています。



写真2. バイオ炭施用の様子  
JA きたみらいが購入しているのは下川町で生産されているバイオ炭。サラサラの粉状なので、堆肥に混ぜて施用しています。

特集 ■ 農業の新しい価値「環境」



生活協同組合連合会東海コープ事業連合  
商品事業本部  
農産商品部 野菜課  
課長 酒井 満さん



ホクレン 農産事業本部 種苗園芸部  
園芸開発課  
課長補佐 北村 誓啓

「Jークレジットを買う・使う」

宅配で価値を広める「環」

東海コープでは2019年からホクレンの「環」を取り扱い、岐阜・愛知・三重の3県における宅配事業で供給しています。パッケージ1点ごとに1円を積み立て、それを原資にクレジットを購入。「環」の輸送で排出するCO<sub>2</sub>をオフセットする仕組みにしました。こうした内容を店頭で説明するのは難しいので、商品をじっくり吟味できる宅配ならではの取り組みといえるか

して商品価値を高めようと、JAきたみらいさんとタッグを組んでつくったのが、環境配慮型玉ねぎ「環」です。その意義を理解してくださる販売先として、生協を中心にパートナーを探してきました。  
当初は圃場への木炭の施用とカーボンオフセットを強調していましたが、Jークレジット制度ができたことからブランドをリニューアル（写真3）。木炭をバイオ炭に切り替え、2023年からはJークレジットの創出側として登録し、更なる環境価値を高めています。  
今後は、産地での環境配慮の取り組みや成果をより多くの消費者

かもしれません。Jークレジット制度を組合員に説明できるよう、配達担当者を対象にした学習会も開催しています。毎回ホクレンさんが講師として来てくれるので助かっています。  
「環」の取り扱いを始めてから6年目ですが、利用件数、利用金額ともに右上がりです。これからは環境に対する意識の高い方だけではなく、より広く浸透させていく必要があるでしょう。地道に取り組んでいきたいと思えます。

に伝え、食の循環を支える意識に結び付けられるよう取り組みを強化していきたいと考えています。

写真3. 環のパッケージ  
「2050年までに玉ねぎに何が出来るだろう?」というコピーで、ゼロカーボンの実現に貢献する商品であることをアピール。「環」を食べる人が増えると、畑でつくる「環」が増え、土の中に封じ込められるCO<sub>2</sub>も増える、好循環を訴求しています。





株式会社オホーツククリーンミート  
取締役 桑野 剛 業務部長

桑野部長は興部町出身。株式会社オホーツククリーンミートの一期生。「入社後、埼玉県の企業研修で3年間食品加工の基礎を学びました。徹夜で商品開発をしたのも今ではいい思い出です。夢は当社から生ハムを作ること。いつか実現したいです」



工場でのベーコンづくり（豚バラ肉のカットや熱処理と燻煙の様子）

株式会社オホーツククリーンミート

「おこっぺハム ベーコン」

## 生産者の努力にこたえる 乾塩製法ベーコン

食卓で大活躍のベーコンはやはり北海道産豚肉で。町民にもファンが多い興部町・オホーツククリーンミートのベーコンは創業からのロングセラー。おいしさの秘密は生産者の努力にこたえる手仕事にありました。



左：ベーコン（スライス）95g  
希望小売価格 507 円（税込み）  
右：ベーコン（ブロック）300g  
希望小売価格 1,900 円（税込み）

### 興部町に官民共同で創業

畜産のまち、興部町が1996年に官民共同で立ち上げた株式会社オホーツククリーンミート。創立当初は牛肉の加工から始まり、その後主力を豚肉加工に切り替え、「おこっぺハム」ブランドを展開しています。主役の肉はもちろん北海道産の豚肉だけ。オホーツク海に面したまちの特徴を生かした「ほたてソーセージ」など次々と商品を開発し、その中でも創業からのロングセラーが豚バラ肉のストレートなおいしさが詰まった「ベーコン」です。

### 手ですり込む乾塩製法

そんな人気のベーコンはどうやって作られているのか。桑野部長にお話を伺いました。「当社のベーコンは、大量生産では珍しい乾塩製法を採用しています。豚バラ肉の塊一枚ごとに重さを計り、それに適した量の自然塩を手で丁寧すり込み、それから7日間、肉のうまみを凝縮させます。一般には乾塩製法ではなく、塩水に漬け込むやり方もありますが、やはり素材そのものおいしさを引き出すには乾塩製法で。熟成後は

8時間の熱処理と燻煙を経て、味わい深いベーコンが出来上がります」

聞けば、味がとがりすぎないように豚バラ肉全体にすりこんだ塩を熟成後に洗い流すのも、スタッフの手作業なのとか。生産者が手塩にかけて育てた豚を託されているという思いが、「おこっぺハム」の間も時間もかけた加工の工程に宿っています。

### 常温でそのままパック

「おこっぺハム」ブランドは道内のスーパーや小売店で販売する道内北海道物産展、オンラインショップで販売しています。

おいしい食べ方を桑野部長に聞いたところ、「ベーコンは一度熱処理をしているので実は開封後そのまま食べてもおいしいんです。食べる前に常温に戻すと脂も食べやすくなります。私のおすすめは薄めにスライスしてお酒のおつまみに。裏表をさつと焼いてもおいしいですよ」

近年の物価高はハム・ソーセージなどの加工食品業界にも影響を及ぼしており、「今後は従来商品プラスアルファの売り上げを生み出す魅力的な新商品の開発にも取り組んでいきたい」と語る桑野部長。



ホームページはこちらから  
<https://okoppeham.jp/>



株式会社オホーツククリーンミート  
1996年創業。パートを含め16人のスタッフで稼働中。

今、あらためて生産者への思いを  
こう語ります。

「私どものところに届く豚肉の質を  
見ると毎回、北海道の生産者さん  
のご苦労に本当に頭が下がります。  
生産者さんがいてくださって、その  
原材料を北海道の企業である私ど  
もが加工し、その商品を評価して  
くださる道内のお客様がいる。こ  
の輪をこれからも維持し続けるこ  
とが、北海道の食に関わる皆の課  
題だと思えます。私どももその輪  
の中で、北海道産豚肉の魅力をもつ  
と多くの人たちに知ってもらい、そ  
のための創意工夫をこれからも続  
けていきたいです」

# 自給飼料の活用で環境を守り、コストダウン(コーンサイレージ多給)

ホクレン 酪農畜産事業本部

今回はホクレンのイネ科牧草チモシー単播とマメ科牧草アカフローバ混播の比較給与試験を例に「良質な牧草の給与により温室効果ガスを約9%削減できる」ことを解説しました。今回は、飼料用とうもろこし栽培可能地域におけるコーンサイレージ多給による温室効果ガス削減について解説します。

やさしく  
解説します!



## コーンサイレージ多給のシミュレーション

搾乳牛への飼料用とうもろこし(以下、コーンサイレージ)の給与量10kgと30kgの設計を組み、比較しました。シミュレーションの結果、コーンサイレージはとうもろこしの子実が含まれているため30kg

給与した方が濃厚飼料(購入飼料)を減らすことができました(表1)。

経済性を比較するとコーンサイレージを30kg給与した方が粗飼料給与量が多くなります。粗飼料の生産費用(種子、肥料、労働費、農機具費等)は増加しましたが、それ以上に濃厚飼料費が減るので経済メリットが出る結果となりました(表2)。

※CS= コーンサイレージ

表1. コーンサイレージの給与量比較<現物、1日1頭当たり>

	コーンサイレージ	グラスサイレージ	粗飼料合計	濃厚飼料
CS30kg	30.0kg	14.6kg	44.6kg	9.3kg
CS10kg	10.0kg	22.4kg	32.4kg	11.9kg

- 粗飼料分析値はホクレンくみあい飼料(株)の全道平均値を参照した。
- 設定乳量は北海道酪農検定検査協会の全道平均乳量31kgとした。
- 乾物摂取量、粗たんぱく量、デンプン、中性デタージェント繊維(繊維含量)の供給量を合わせた。

表2. コーンサイレージの給与量比較<経済性、1日1頭当たり>

	粗飼料費用	濃厚飼料費	飼料費合計 (生乳1kgあたりの飼料費)
CS30kg	¥455	¥870	¥1,325 (¥42.7)
CS10kg	¥327	¥1,105	¥1,432 (¥46.2)
差	¥128	▲¥235	▲¥107 (▲¥3.5)

- 濃厚飼料購入費はR5年平均を用いた。

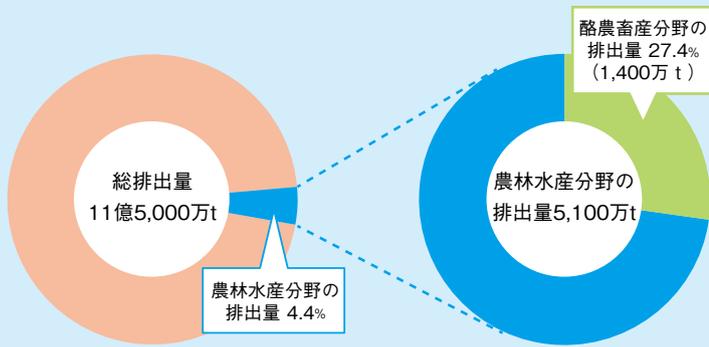


図2. 温室効果ガス日本国内総排出量に占める農林水産分野の排出量(2020年度) 農林水産省「農業分野における気候変動・地球温暖化対策について」(令和6年1月)を参照。



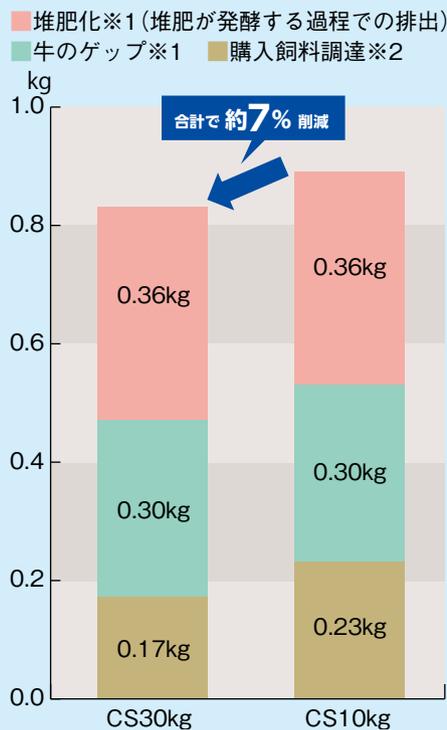
飼料用とうもろこしは牧草と並ぶ北海道酪農の主要な自給飼料であり、TDN(可消化養分総量)が高く収量も期待できます。今回の試算では、コーンサイレージの多給によって濃厚飼料を削減できることから、経済性向上と環境負荷軽減が可能となりました。

今回解説したコーンサイレージ多給だけでなく、適期収穫による栄養価の確保、十分な踏圧など発酵品質向上による自給飼料の給与割合向上のほか、前回ご紹介したマメ科牧草混播による栄養価向上によっても経済性と環境負荷軽減の両立が可能です。

また、自給飼料生産は土壌炭素貯留によるCO<sub>2</sub>吸収源にもなるため環境負荷軽減が可能です。

世の中では酪農畜産の環境負荷への対応が注目を集めています。日本の温室効果ガス総排出量は約11億5,000万tであり、そのうち酪農畜産分野に限れば約1.2%(1,400万t)と決して大きい数字ではありませんが、持続的な酪農畜産経営に向け温室効果ガス削減に取り組んでいく必要があります。そのためにも、北海道酪農の特徴である自給飼料基盤の活用が重要であると考えています。

8月号から3回の短期連載でしたが酪農畜産のSDGsについてお伝えしてきました。これからも酪農畜産の環境負荷軽減に向けた有用な情報発信に取り組んでまいります。



※1. 「日本国温室効果ガスインベントリ報告書2024年」を参照して算出。  
 ※2. 「産業関連表による環境負荷原単位データブック」、「流通飼料価格等実態調査」を参照して算出。

図1. 生乳1kgのCO<sub>2</sub>発生量の比較

**温室効果ガス排出量**

飼料設計を基に生乳1kgあたりのCO<sub>2</sub>発生量を、前回の10月号と同じ排出源(堆肥化、牛のゲップ、購入飼料調達)で試算しました。

飼料設計を基に生乳1kgあたりのCO<sub>2</sub>発生量を、前回の10月号と同じ排出源(堆肥化、牛のゲップ、購入飼料調達)で試算しました。合計でCO<sub>2</sub>が7%減少する結果となりました(図1)。

した。コーンサイレージ30kg給与した方が濃厚飼料を減らすことができたため、購入飼料調達にかかるCO<sub>2</sub>が大きく減少しました。合計でCO<sub>2</sub>が7%減少する結果となりました(図1)。

高い品質を実現し、維持し続ける「達人」の取り組みには営農のヒントがあります。今回は令和5年度北海道麦作共励会で個人の部 秋播小麦第2部最優秀賞を受賞した上士幌町の岩瀬紀昭さんにお話を伺いました。

“人と会って話すことで  
見えるものがある”

Profile : 1969年生まれ、岩瀬農場の3代目。18歳で就農し、耕地面積40.4haで畑作（秋まき小麦・馬鈴しょ・てん菜・豆類）と、肉牛（素牛）の複合経営を展開。株式会社上士幌町資源循環センターの取締役を務める。

インタビューは  
動画でも  
ご覧いただけます



## 畑を観察し、積み重ねた実践が成果に

｜岩瀬 紀昭さん｜JA上士幌町｜

過去2年で町平均収量対比114%と多収な上、一等麦比率96%と高い歩留まりが評価され、「個人の部 秋播小麦第2部 最優秀賞」に輝いた上士幌町の岩瀬紀昭さん。町内のバイオガスプラントから出る有機物を活用して循環型農業に取り組み、生産者仲間に積極的に情報を提供し地域に貢献しています。

## 畑を観察すると答えが見える

10年ほど前までは小麦の収量がなかなか上がりませんでした。それでも、自分の畑と仲間の畑をよく観察し、仲間の栽培法について話を聞きながら、自分の栽培方法を少しずつ変えることで収量品質が向上しました。

一番重要なのは播種です。天候を見ながら土壌がほどよく湿っている時に、丁寧に碎土し播種します。播種の深さは浅くなり過ぎず、播種量は基準よりやや少ないくらい。毎日畑をよく見ることもポイントです。朝、午前、午後、夕方と4回は見て回ります。そこで小麦の変化に気づけば、病害虫の早期発見、適期防除にもつながります。

基肥は土壌診断に基づき、越冬に必要な生育量を確保できる程度に与えます。以前は全層施肥も試みましたが、肥料が深くならず生育ムラができたことから作条施肥にしています。

スマート農業も積極的に取り入れています。追肥の際はドローンで撮影した画像で葉の色を確認し、濃度により施肥量を調整することで均等に生育するようになりました。また、GNSS自動操舵トラク

ターを導入することで機械作業が楽になりました。誰でも真っ直ぐ走らせることができるので、短期雇用の従業員に任せられる作業も増えました（写真1）。傾斜地もあるので、圃場の外周を少し空け、安全に作業しやすい工夫もしています。

## 地域で循環型農業を实践

土づくりには、株式会社上士幌町資源循環センターのバイオガスプラントから出るメタン発酵消化液（以下、消化液）を活用しています（写真2）。このセンターは2017年に地域の家畜排泄物を発電に利用するために設立され、3年前に声が掛かり取締役になりました。



写真2. 消化液散布の様子。

した。設立前は自分の農場の家畜排泄物を堆肥化していました。センターができて作業がかなり軽減されました。消化液は秋まき小麦の収穫後、緑肥のえん麦を播く前に散布しており、効果も十分な上、安価で利用できます。これまで町内の酪農家を中心に利用されていましたが、畑作農家にも利点を伝え、利用者が増えていくところです。

そして何より、良い小麦づくりに大切なのは、人と会って話すことです。先輩から教わり、仲間と切磋琢磨することが刺激になり、良い結果につながります。最優秀賞を受賞したことで後輩が相談に来てくれ、すぐに改善策を実施したことで成果が出てきました。この積み重ねで、上士幌町の農業がもっと良くなっていけばと思います。



写真3. 一緒に高品質な小麦作りに取り組むJA上士幌町農産部部長 村瀬貴城さん（右）。



写真1. GNSS自動操舵トラクターは10年前から導入するなど、スマート農業を積極的に取り入れています。

## 優れた技術を全道そして全国へ

稲作麦作総合改善研修会での表彰式



北海道農産協会では、麦の生産振興のため、「北海道麦作共励会」を実施しています。今年で45回目となり、麦作生産において生産技術や品質改善、経営改善の面から創意工夫を持ち、先進的で他の模範となる麦作農家や麦作集団を表彰し、その業績を広く紹介するものです。

なお、本共励会の最優秀賞受賞者は、全国米麦改良協会主催の「全国麦作共励会」に推薦され、全国の麦作生産者に対し北海道麦作の取り組みを広く紹介する機会となっています。



最優秀賞の枝肉は歩留等級、肉質等級が高いのはもちろん、各部位の厚みや形、つやなど外観の良さも高く評価されました。

ホクレンくみあい飼料株式会社枝肉勉強会

販売先の拡大までを意識し

北海道の和牛生産にさらなる発展を

ホクレンくみあい飼料の利用者を対象に2017年度から開催している「ホクレンくみあい飼料株式会社枝肉勉強会」の取り組みを紹介します。



枝肉勉強会では歩留等級(A～C)、肉質等級(脂肪交雑、肉の色やキメ、脂肪の色と質により5～1)、厚みや形などを総合的に審査します。歩留等級A、肉質等級5がいわゆる「A-5ランク」です。

## 枝肉勉強会とはどんな事業？

松下 ホクレンくみあい飼料(以下、「系統飼料」)の利用者で行う、枝肉の品評会です。和牛に関して北海道は、育成牛(子牛)頭数では全国2位、肥育頭数は3位であり、どちらかと言えば肥育より子牛生産が中心です。また、府県に比べて歴史も浅く、知名度や価格という点では古くからあるブランド牛には追いついていません。本勉強会のような催しを行い、成果を競うことで牛肉の品質が向上し、販売価格も上がることを期待しています。

鈴木 2024年度の枝肉勉強会には、個人経営の方から大規模法人まで17戸の生産者が、37頭と数多く出品してくださいました。

石田 審査の基準としては、一般の共励会や品評会と同じですね。このような大会では審査員が歩留等級、肉質等級を数値化し、さらに厚さや形など外観も見て判断するのですが、出品者の中でA5ランクは78.4%。全国平均が63%なので、かなりレベルが高かったですね。

## 試食販売フェアでアピール

松下 通常の共励会・品評会なら表彰して競りをしたら終わりですが、



ホクレンくみあい飼料株式会社  
業務部 業務開発課  
主幹 鈴木 京



ホクレン 酪農畜産事業本部  
畜産生産部 生産技術課  
技師 松下 洋治



ホクレンくみあい飼料株式会社  
業務部 業務開発課  
石井 敦大



ホクレン 道央支店  
食肉販売課  
推進役 石田 宏樹



## 枝肉勉強会とは

### 牛肉品質向上のため独自の品評会を

「ホクレンくみあい飼料利用者の牛肉品質と販売価格の向上のため、利用者限定の枝肉共励会を開催してほしい」「枝肉市場の出品者を増やし活性化を図りたい」という声が上がっていたことから、ホクレンくみあい飼料株式会社とホクレン畜産生産部、畜産販売部が協力し2017年度から開始しました。



2024年度の審査員は、公益社団法人日本食肉格付協会北海道支所 帯広事業所所長の由良強氏、JA全農ミートフーズ株式会社食肉事業戦略室の専任課長 村川直樹氏が務め、通常の共励会と同様の基準で審査されました。賞が決まると競りも行われ、受賞者から出品された枝肉は高値で取り引きされます。



最優秀賞はJAオホーツク網走哺育センター、優秀賞は有限会社農業生産法人永楽牧場、優良賞はJA幕別町の株式会社小田嶋農場。出品されたすべての枝肉が歩留等級Aとなり、A-5の割合は全国平均63%のところ今回は78.4%と、ハイレベルな生産者ぞろいとなりました。

この枝肉勉強会の最大の特長は、ホクレン道央支店も協力し、最優秀賞の肉をスーパーの店頭で実際に販売する機会を作っていることです。卸売業者、小売店、消費者にアピールして、販売先につないでいけるような活動をしています。

**石田** 私たちは生産者団体として、普段消費者と直接交流するようなことが少ない生産者が、思いを伝えられる機会の一つとして考えており、生産者からも「貴重な経験ができてありがたい」という声をいただいています。そもそも、北海道では牛肉より豚肉の方が消費が多く、スーパーの売場でもメインは豚肉です。和牛のイベント自体も少ないので、もっとこういった機会を作ればと思います。飼料会社が肉の販売まで応援するという機会もあまりないですね。

**鈴木** 私たちも店頭に立たせていただきました。お越しいただいた方のアンケートでは、やはり最優秀賞と謳っているのが特別感があり、試食するとおいしい。また店舗にあったら買いたいという意見もあり、和牛や牛肉の消費拡大につながればと思います。



#### 枝肉勉強会の特色

### スーパー店頭で試食販売を実施

最優秀賞の「オホーツクあばしり和牛」はホクレン道央支店の協力により、ホクレンショップ平岡公園通り店（札幌市清田区）としらかば店（苫小牧市）で8月24日と25日の2日間、試食販売フェアを行いました。生産者も売場で立ち合い、消費者と交流。「最優秀賞受賞牛」ののぼりを掲示してアピールしたほか、試食をしてアンケートに回答、購入した消費者に牛乳のプレゼントも実施。試食にはロースなど高級部位を使用し、焼いた肉を塩こしょうとわさび醤油の味付けで提供しました。



### 試食販売フェアでアピール

**鈴木** 受賞者のお肉を消費者へPRできることが、この枝肉勉強会の特長です。生産者にも関心を持っていただき、出品数が増えることが一番大事ですね。さらに、例えば北海道らしい原料を使った配合飼料を給餌し、その牛が枝肉勉強会で受賞し、ストーリー性のある牛肉として販売できれば、また一段階違うステージに行けるかなと思います。

**石井** 私も今回初めて携わらせていただき、試食販売フェアでは消費者の反応を直に見ることができ、お子さま連れなどが楽しんでくれている姿を見ることができました。これをきっかけに、消費者にも生産者にも取り組みを知ってもらい、広がってほしいと思います。

**石田** 私たちもそうしただけのお手伝いできれば、ゆくゆくは、和牛肉の新たなブランドができるといいですね。

**松下** 飼料の販売だけでなく、和牛の品質向上から肉の消費まで考えた特色のある取り組みですが、生産者をバックアップすることで、北海道の和牛生産現場が発展し、安心して生産を増やし消費者にもっと手に取っていただけるような状況にしたいですね。



枝肉勉強会に参加した生産者から

## 酪農・畜産の核となる施設「JA オホーツク網走肉牛共同哺育センター」

2012（平成24）年から和牛肥育も始め、現在は、和牛約70頭、乳用雄素牛約600頭、雌預託牛約180頭の計約850頭を、インドネシアからの技能実習生を含む9人で飼養管理しています。消費者が求める安心安全なおいしい肉づくりのため、地元生産者の素牛を市場で購買、肥育することで、産肉成績から育種価情報を生産者にフィードバックし、繁殖牛基盤強化や改良及び「オホーツクあばしり和牛」として銘柄牛を確立する取り組みを実施しています。

### Q.枝肉勉強会へ出品した経緯は？

肥育した牛で成果を出すことによる系統飼料の促進なども踏まえ、出品しています。枝肉勉強会には第1回から参加し、3回最優秀賞を受賞しています。

### Q.肥育で工夫や大切にしていることは？

徹底した個体管理です。飼料の給餌量の測定、定期的な体重測定やビタミン調整、削蹄をします。また、スタッフの細かな巡回によって毎日の様子を記録しており、ベテラン職員はそれをもとに都度アドバイスをしながら、丁寧に管理しています。飼料も配合飼料のほか、道産の稲わら等独自の工夫もしています。



### Q.試食販売フェアに参加して感じたことは？

消費者の声を直接聞いたことが良かったです。試食のお肉を「おいしい」と言って食べてくれたり、手に取ってくれる姿を見て、「頑張ろう！」という気持ちになりました。今後、この経験を励みとしていきたいです。

### Q.枝肉勉強会への出品は、どのような意義があるとお考えですか？

「最優秀賞を目指す！」という目標を掲げることで農場全体のモチベーションがアップします。それにより、よりよい牛づくりや北海道全体の和牛生産のレベルアップにもつながっていくと感じています。

稲わらの給餌や餌の残量のチェック、ストレス解消のために背中をレーキで搔くなど、一頭一頭をきめ細かく世話。4人の技能実習生が重要な戦力となっています。



商品はロース、肩、ももなどの部位を薄切りやしゃぶしゃぶ用、ステーキ用に加工して提供。2店舗合計992人が試食し、289パックを販売、約57万円を売り上げるなど盛況でした。

消費者からは、「試食の機会はありませんでしたので良いと思います」「定期的に開催してほしい」「見た感じほど脂っぽくなかった」「ぜひおいしい道産品をPRして消費者の笑顔を引き出すフェアを続けてください」など、好意的な声、今後の販売に期待する声が多くありました。

アンケートでは味、食感について約9割が「おいしい、軟らかい」と回答。また、「オホーツクあばしり和牛」がまた販売されていたら購入したいかという質問には、7割がまた購入したいと回答し、道産品への関心の高さがうかがえました。



枝肉勉強会の主催者から

### 北海道和牛の安定供給に貢献

ホクレンくみあい飼料株式会社  
代表取締役社長 中村 伊三雄

この度は、弊社主催の枝肉勉強会に道内各地の生産者の皆様、農協の皆様のご参加を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、「ホクレンくみあい飼料枝肉勉強会」は今年で7回目の開催となりました。

今回出品いただいた37頭の枝肉は、全体として非常にバランスが良いと聞いております。これもひとえに皆様の日々のご尽力の賜物と心より感謝を申し上げます。弊社といたしましては、今後ますます期待の高まる北海道産和牛の安定した生産に貢献するため、JAの皆様、ホクレンの皆様と共に、生産者の皆様のご期待にそえる、より良質な配合飼料の製造・出荷に努めてまいります。

## 「耕種関係」(農産技術課)

ホクレン訓子府実証農場は、組織・技術・人・地域をつなぐ、コネクテッドファームとして、省力化・自動化やデータ活用など、スマート農業を中心とした実証試験に取り組んでおり、関連した視察の受け入れを行っています。

無人で圃場内を走行し、直進や旋回を行うだけでなく、PTO駆動の入り切りや作業機の上げ下げなども自動で行うロボットトラクタについては、現在行っている実証試験内容の説明に加え、ロータリーによる整地作業の実演などもご覧いただきました。

可変施肥技術については、衛星データから得られる生育マップに基づいた、可変施肥マップの作成について、パソコンなどの操作方法を実演しながら紹介しています。手順を聞いて自らパソコンを操作することで、継続して取り組めるかなど、自分の経営に導入するかどうかの判断に役立ったとの感想をいただいています。なお、可変施肥技術に関しては、当農場内だけでなく、現地に向向いての講習会や、機械メーカーと連携した施肥機操作の説明も行っています。

## information 情報クリップ

# CLIP

### CLIP 01

## ホクレン訓子府実証農場の視察・研修の受入れ状況

ホクレン 訓子府実証農場

訓子府実証農場では視察・研修の受け入れを行っています。2024年度も多くの団体の方々などにお越しいただき、9月末までに54件、約600人の方に来場いただきました(表1)。訓子府実証農場の視察・研修の受入れ状況や内容などをご紹介します。

表 1. 2024 年度上半期の視察・研修受入れ状況

視察		
担当課	主な内容	団体数
農産技術課	取り組み概要・圃場視察	7
	スマート農業技術	11
	可変施肥	2
	高機能バイオ炭	3
畜産技術課	取り組み説明・現場視察	7
	クロスブリーディング	3
	タイストール用搾乳ロボット	3
	飼料作物関係	1
研修		
担当課	主な内容	団体数
農産技術課	研修会	5
畜産技術課	研修会	5
	短期宿泊研修※	7

※当農場の宿泊施設を利用した研修



写真 4. 高機能バイオ炭を施用した圃場試験



写真 1. ロボットトラクタの実演



写真 3. もみ殻由来のバイオ炭



写真 2. 可変施肥に係る操作方法等の説明



写真 5. 牛舎管理研修

また、近年の環境配慮への意識の高まりから、温室効果ガス削減に有効で、土壌改良の効果も期待できる高機能バイオ炭の試験を目的とした視察来場も増えてきています。

### 「畜産関係」(畜産技術課)

当農場では約340頭の乳牛を飼養しており(経産牛約160頭)、酪農現場で活躍する人材の育成を目的に、実際の酪農現場を想定し乳牛の飼養から飼料作物の

栽培管理まで一貫して学ぶ場として、多くの研修に対応しています。

1年間の長期研修生の受入れの他にも、目的に応じた研修を随時実施しており、酪農現場での搾乳作業を中心に数日から1カ月程度まで幅広く対応しています。今年度は新規就農予定の方への研修や、JAや法人の職員に向けた研修に対応させていただきました。

視察に関しては、道内で先駆的に取り組んでいるクロスブリーディングに関する情報提供の他、子牛管理に関わる取り組みや2021年に導入したタイストール用搾乳ロボット、牧草や飼料用とうもろこし新品種の紹介などを行っています。

### 視察・研修内容は ご相談ください。

視察・研修の内容やご要望など、お問い合わせは、直接、またはお近くのJAを通じ、訓子府実証農場やホクレン支所営農支援室までご連絡ください。



写真 6. クロスブリーディング牛



写真 7. 子牛管理の研修



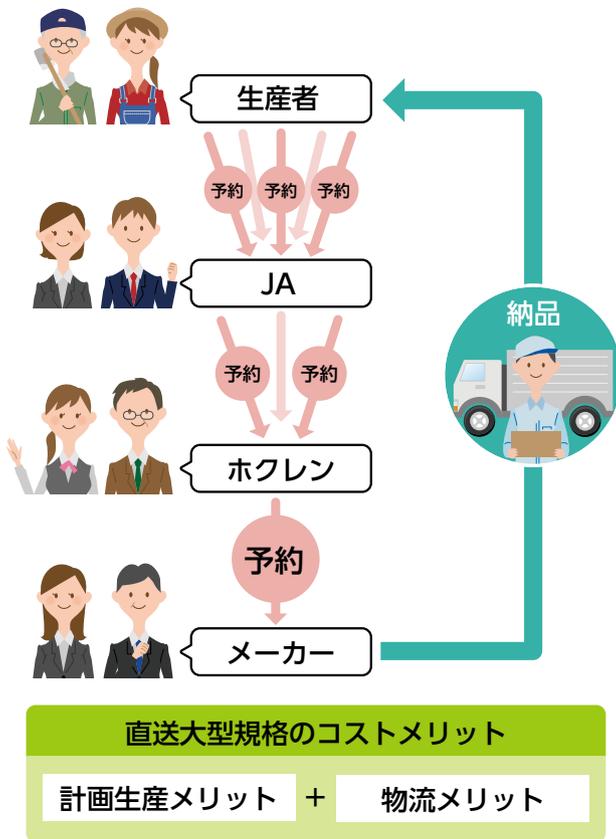
写真 8. 飼料作物圃場視察

# CLIP 02

## 農業コスト低減に「直送大型規格」と「ジェネリック農業」

ホクレン 肥料農業部 農業課

コスト低減に役立つ「直送大型規格」の利用が拡大しています。



### 直送大型規格のコストメリット

計画生産メリット + 物流メリット

図 1. 直送大型規格のイメージ

直送大型規格品目の一覧は、アグリポート Web からご覧いただけます。  
<https://agriport.jp/agriculture/ap-21625/>

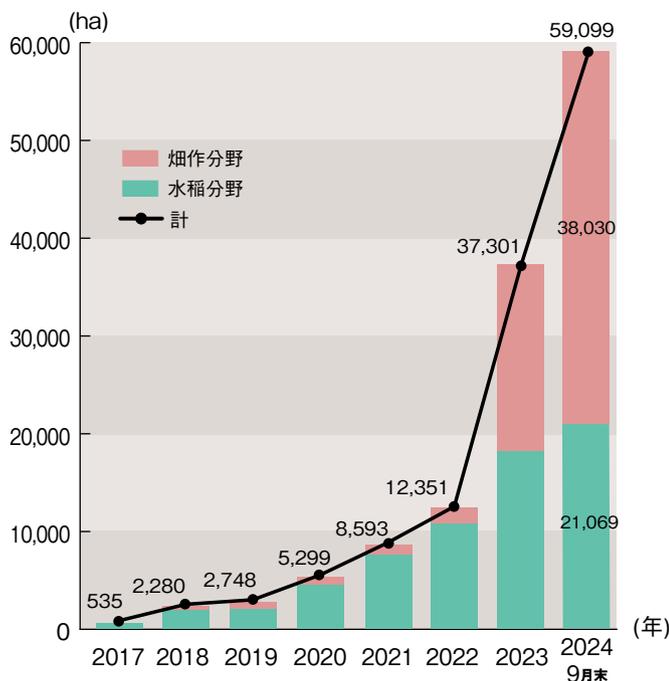


図 2. 直送大型規格の普及面積 (北海道内)

### 普及が進む「直送大型規格」

ホクレンでは、2017年度より生産者の営農コスト低減を目指して農業の「直送大型規格」を取り扱っています。この直送大型規格とは、予約取りまとめに基づき、メーカーから生産者宅までの直送による物流コスト削減と、取りまとめによるスケールメリットを生かした製造コスト削減により、通常規格よりも安価な価格設定を実現したものです(図1)。

初年度は4品目から始めましたが、2024年度では37品目にま

で増えています。普及面積も拡大し続けており、2024年は約5万9000haとなりました(図2)。

水稲除草剤の分野では、道内の作付面積の約23%にあたる約2万1000haで使用されています。当初は水稲分野を中心に普及を進めていた直送大型規格ですが、2018年度より「ベタナール乳剤」をラインナップに追加し、以降も「バスタ液剤」など畑作地区でも使用できる品目を増やしています。更に、2023年度からはジェネリック農業の「グリーンペン

コゼブ水和剤」をラインナップに加えたことにより、畑作分野における普及面積が急速に拡大しました。一方、畜産分野においても2023年度よりデントコーン用除草剤の「日曹アルファード液剤」を設定することで、普及に取り組んでいます。

2025年度も、殺センチュウ剤である「ネマクリーン粒剤」の取り扱いを開始します。今後もホクレンでは「直送大型規格」の普及に取り組むことで、農業のコスト低減に寄与していきます。

<ジェネリック農薬例>



クサトリキング



ジェイエース水溶剤、粒剤

<直送大型規格例>



ジャスタフロアブル  
20L(5L×2×2)



ネマクリーン粒剤  
800kg (20kg × 40)



サキガケ楽粒  
10kg(2.5kg×2×2)



日曹アルファード液剤  
108L(3L×6×6)



グリーンペンコゼブ水和剤  
80kg(2kg×10×4)

表 1. ジェネリック農薬一覧

ジェネリック農薬	用途	成分名	代表的な先発剤
グリーンペンコゼブ	畑作殺菌剤	マンゼブ	グリーンダイセンM
ジェイエース	畑作殺虫剤	アセフェート	オルトラン
ピートアップ	てん菜除草剤	フェンメディファム	ベタナール
クサトリキング	非選択性除草剤	グリホサート イソプロピルアミン塩	ラウンドアップ

**「ジェネリック農薬」も活用を**

農薬は、特許を有するメーカーが独占的に製造・販売する権利を持っています。しかし、特許期間（20～25年間）を経過した農薬については、第三者が安全性などのデータを提出して農薬登録を取得すると、先発剤よりも少額の開発費で同一の有効成分の農薬を製造・販売することができ、農薬価格の引き下げにつながります。これが「ジェネリック農薬」です。

ホクレンでは「クサトリキング」「グリーンペンコゼブ水和剤」など複数品目においてジェネリック農薬の普及に取り組んでいます（表1）。ジェネリック農薬は、そのものを安価に供給するだけでなく先発剤の価格引き下げにもつながっていて、2023年には、表1の4品目を合わせると約2.4億円の価格引き下げ効果を生みました。今後も営農コスト低減に向けてジェネリック農薬の普及を進めていきます。



直送大型規格×ジェネリック農薬  
「グリーンペンコゼブ水和剤」

さまざまな作物で使用可能で、1戸当たりの使用量も多い薬剤です。  
ぜひ直送大型規格でのお買い求めを！

## 収穫作業を少しでもラフに

かぼちゃつる切りデバイダー※  
(写真1)は、かぼちゃの収穫作業で、労力と時間がかかる要因の一つである「果実をつるや茎葉の中から見つける作業」の効率化を目的に開発されました。

①トラクターのフロント部に装着された、かぼちゃつる切りデバイダーが、かぼちゃのつるをすくい上げて細断、同時にガイドパイプでかぼちゃ果実を、タイヤで踏まないように左右に振り分けます。これによりかぼちゃの損傷を抑えながらトラクターで圃場を走行できます(写真2)。

②更に、トラクターにチョッパーなどの作業機を装着すれば、茎葉処理作業も行えます。

使用するトラクターは60〜80PS(推奨)、デバイダーの高さや幅は使用するトラクターに合わせて設定できます。デバイダーの回転刃と上下の作動にはトラクター供給油(2系統)を使用します。なお、茎葉処理作業を行うチョッパーなどの作業機は、かぼちゃ果実を傷付けないような高さに設定し葉を切断できるものであれば、新たに購入の必要はありません。

## 生産者の評価

# CLIP 03

## かぼちゃつる切り デバイダー(KC-1400P)の 販売を開始しました

ホクレン 農機燃料自動車部 農機自動車課  
かぼちゃの収穫作業省力化に役立つ  
機械を紹介します。

今まで実演試験やモニター導入でご協力いただいた生産者からは、「果実が見つけやすくなり見落としロスが減った」「繁茂した茎葉をかき分ける労力が減り、収穫時間も短縮につながる」などの評価をいただいています。一方で、機械の特性上、若干の果実損傷が生じる場合があることや、作付面積、収穫作業体系やスケジュールにより効果が異なるという意見もありました。

かぼちゃつる切りデバイダーは受注生産品として注文を承っています。ご相談やご不明な点など、まずは最寄りのJAまでお問い合わせください。

※デバイダー：divider→divide(=分け)

◎名詞形



写真2. かぼちゃつる切りデバイダー処理後の状況

表 1.KC-1400P の主要諸元

推奨トラクター	60～80PS
作業幅(トラクター輪距)	1,300～1,500mm
作業速度	3～5km/h
作業機上下作動	トラクター供給油圧使用
回転刃	3,000～3,500rpm トラクター供給油圧使用 (18.5～21.5ℓ/min)

※トラクター及びチョッパーは本製品に含まれません。  
※トラクター供給側の油圧ホースおよび取付部品類が別途必要となります。  
製造：訓子府機械工業株式会社  
販売元：ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道支社  
販売窓口：JA・ホクレン  
試験・開発協力：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構



写真1. かぼちゃつる切りデバイダー



農業ロボット「デスカ3号」  
農業お手伝いロボットとして開発され、北海道の  
生産地をさすらいながらお助けします。開発され  
たばかりなので農業はまったくの初心者です。

農業ロボットデスカ3号の

# これって何デスカ?

「浜中町、湧別町の方からの質問!」心土破碎とは何ですか?

VOL.23

皆さんからの疑問を大募集!  
今更聞けない疑問をデスカ3号が  
代わりに聞きます。皆さんの疑問を  
アンケートでお寄せください。



心土破碎とは、ある程度の深さま  
で農地に亀裂を入れて水の通り道  
を作り、透排水性を高めることを言  
います。トラクターの走行などで土  
壌が踏み固められると、作土の下に  
硬盤(耕盤)層ができます。これによ  
り、根張りが阻害され、養水分が十  
分に吸収されなくなったり、透排水  
性が悪くなったりします。それを、  
心土破碎実施で改善できることが  
あります。収穫後の秋に行えば、雪  
解け水がすみやかに抜けるため、春  
作業がスムーズに行えます。秋の終  
わりまで収穫が続く場合は、春に心  
土破碎をすることもあります。

効果的な心土破碎を行うために  
は、①事前に圃場の硬盤層の位置  
を調べる、②トラクターの馬力に合  
わせた作業機を選択し、効果的な  
深さで作業する、③できるだけ乾い  
た状態で、歩く速度程度でゆっくり  
作業する、④作物や圃場に合わせた  
方向に施工する、などいくつかポイ  
ントがあります。

過去のアグリポートでは、心土破  
碎のポイントや作業機についてなど  
も解説していますので、  
こちらにも参考にご覧ください。



## VOICE

読者の皆さんからの声



前号について、皆さんからお寄せいただいた声を掲載します。

## 特集

## 「土壌微生物を生かす」

・酪・畜・畑すべての農家において切っても切れない大地の恵みですね。作物の生育に都合の良い菌もいれば悪い菌もあるし、良い菌を入れすぎても良くない。奥深いなあ、と思います（土壌分析については夫が専門担当ですが）。

（湧別町・女性）

・微生物の特集、最初は難しくて、読んでもなかなか頭に入ってこなかったのですが、編集後記を読んで「いつもの特集に比べると難しい内容だったのでは」と書いてあって、そうか、いつもより難しいんだ、と納得。じっくり読んで、理解できた気がします。ありがとうございます。（大樹町・女性）

・今回のような、土壌学と農産生産物を加工流通している会社とのつながりは、生産者もモチベーションが上がると思います。（池田町・男性）

・土壌微生物、とても関心を持ちました。土壌物理性の観点からも、全道各地のサンプルを考察して特徴を見たいです。（新得町・男性）

・今号の土壌微生物特集は非常に役に立ちます。アグリポートをテキストの一部として青年部との対話活動事業を行うのも面白いかも、と思いました。そうすると青年部層への本誌の興味もさらにわくのかなと感じました。（津別町・男性）

・異常気象に資材高が襲い生産者は苦しんでいますが農業の分野に魔法はなく、やはり土を作るしかないと思います。土作りは物理と化学と微生物とされています。今回の微生物特集よかったです。次は化学性の改善（塩基バランス、ミネラル補給）、その次は物理性の改善（暗きよ、心土破碎）と土作りに関することを今一度見直して欲しいです。次の年のコスト計算や作業の組み立てに生かしていけばいいと思います。周辺地域でも収穫高を取れる人取れない人・取れる畑取れない畑の差が広がっていく一方です。土作りの物理・化学・微生物の改善を10年ほど行ってきた我が農場は業績はジワジワ上がってきています。基本をしっかりと、土づくりの意味を今一度再確認すべきです。傷んだ畑ばかりになっては後を引き受ける方も耐え切れない、と思っています。

（池田町・男性）

## 道産品のカタチ

・赤福、子どもの頃に食べて、なんておいしい食べ物なんだ、とびっくりしました。全て道産小豆なのですね。白餅黒餅、とっても気に入ります。

（大樹町・女性）

・赤福の特集、興味深く拝見しました、おいしいですね！（音更町・女性）

・道産品のカタチは、おいしいものができるまでの背景にも脚光が当たり、毎回何が取り扱われるか楽しみにしています。（江別市・男性）

・我が家は農畜兼業で、畑作は小豆のみの作付けです。なので赤福の記事を見て、生産者（我が家？）へのエールと受け止め、とても励みになりました。「あんとバター」のスイーツも美味ですよ！（千歳市・女性）

## 実例で学ぶ達人の知恵

・JAきたみらい中村さんの「なんとなく良さそう、ではなく科学的データを検証。」その通りです。根拠のない勘に頼ってばかりではダメですね。反省。（江別市・女性）

## 情報クリップ

・女性も参加出来そうな研修会が面白そう。参加のハードルが低ければ参加してみたいと思いました。（安平町・女性）

## Agri Square

## 「アグリポーター REPORT」

・簡単料理レシピのさつまいも料理、早速トライです！（音更町・女性）

## 「農業なんでも川柳」

・川柳が好きで、皆様の色々な川柳で癒やされています。（羽幌町・女性）

## その他

・微生物の特集に似ていますが、バイオスティミュラント（BS資材などの新しい農業資材）を詳しく知りたいと思っています。（帯広市・男性）

## 今回のテーマ ご自慢のお庭、家庭菜園を教えてください！



REPORT 01

### 91歳の義母が作っています

アグリポーター  
安平町 ヒマワリさん

家庭菜園とお花畑を、91歳になる義母が毎年作ってくれています。お花はお盆用のほか、モフモフした変わったものもあり、どこで見つけてきているのか不思議です。

野菜もいろいろ育てていますが、ミニトマトは最高に甘いです！きゅうりはズッキーニほどまで大きくなりますが、やはりほどほどのサイズのものおいしいですね。とても上手に育てており、私はもっぱら収穫物を料理するだけです（笑）将来、私が同じように育てられるか、不安しかありません。



REPORT 02

### 食育の一環で子どもたちと栽培しています

アグリポーター  
北広島市 ブラウントラウトさん



かぼちゃ、じゃがいも、さつまいも、枝豆、オクラ、ミニトマト、とうもろこし、きゅうり、ピーマン、なすなど、幅広く栽培しています。農業関係の仕事をしていることもあり、普段スーパーで売っている野菜がどうやってできているかを子どもに体験してほしいことがきっかけで、子どもが生まれた8年ほど前に始めました。日ごとに大きくなっていく作物を見て、葉っぱが食べられていたり、花が咲いたり、ささいな変化に気づくことができ、また、乱暴に扱うとすぐ弱ったり枯れたりするのを目にすることで、物を大切にする心も育てていると感じます。

土づくりから播種、除草や収穫まで子どもたちと一緒にしているので、収穫できた際は、自分たちが育てたものだと思いをまん丸にして大喜びで食べています。

暮らしの中には、どうしても変えられないことがたくさんありますが  
自分の意識で変えていけることもたくさんあります！  
今回は「変えたいこと」や「変えたくないこと」をお聞きました。

• 変えたいことは、頑張りすぎず楽しむようにしたい。変えたくないことは、家族の健康のために食の栄養バランスのとれる、しかも手軽にできる食事作りをすること。（苫小牧市・女性）

• 変えたくないことは、農繁期のおやつ  
の充実。食べても農作業でカロリー消費ができるから。変えたいことは、農閑期のおやつの見直し。一步も動かなくてカロリー蓄積するから。  
（江別市・女性）



### 自分の性格と上手に付き合う

• 変えたいことは、自分のだらしなさ。家の中は不必要なものでいっぱい。変えたくないことは、「ゆるさ」です。あまり細かい事にこだわらないので楽です。長所は短所なのかなあ。  
（岩見沢市・女性）

• 変えたいことは、ちょっとしたことですぐ落ち込む子どものような性格、変えたくないことは、ちょっとしたことですごく感動できる心。（剣淵町・女性）

### 生活環境を快適に、維持 & 変化

• 変えたいことは、運動不足の解消です。なかなかできずにいますが…夏は暑くてやる気にならず、冬は寒くて動けず。どうしたらいいのか悩みものです。  
（長沼町・女性）

• 変えたいことは物をこれ以上増やさない。が、できそうでできない。変えたくないことはカレンダーや手帳によるスマホだけじゃない「手書き」でスケジュール管理すること。  
（岩見沢市・女性）

• スマホ依存なところを変えたい。スケジュール管理や子どもの学校関係のやりとりもスマホが必須なので、スマホに時間が取られている気がします。  
（別海町・女性）



• できるだけ丁寧にゆっくり作業をしたいが、労働時間は短くしたい。  
（別海町・女性）

• 部屋も農場も整理整頓してスッキリとしたい。探し物の時間の無い生活に変えたいです。  
（大樹町・女性）



• 変えたくないことは、外で番犬として犬を飼うことです。我が家に来て13年になる老犬がとても働き犬で、客人の訪れにすぐ気が付きます。  
（芽室町・女性）

• 風呂に入る順番が「夫もしくは長男から」という習慣を変えたい。  
（安平町・女性）

• 古めかしい、男性中心社会が農業社会の中にまだ存在していることを変えたい。  
（京極町・女性）

READER COMMENTS

読者アンケート

皆さんにお聞きしました。

生活の中で「変えたいこと」「変えたくないこと」  
を教えてください。

時間の使い方や習慣は  
良い方向にシフト！

・変えたいことは、時間を有効に活用できるように時間配分を考えて行動を起こしたい。変えたくないことは、自分の一人時間を作れるよう、普段から周りの人に協力して信頼も得たい。

(札幌市・男性)

・変えたいことは、人間関係を変えたいです。変えたくないことは、自分の一日のルーティンです。なるべくなら一人の時間が大切なので。(北見市・女性)

・夜10時には寝て朝は6時に起きる生活習慣は変えたくない。

(恵庭市・女性)

・朝の活動時間を増やすように変えたい。

(共和町・女性)

・就寝前のスナック菓子を食べる癖をやめたい。新聞を毎日隅々まで読む習慣は時に面倒でもやめたくない。

(美幌町・男性)



・子どもの頃から朝の早起きが苦手でした。大人になってもなかなかスタートエンジンがかかりづらいので、起きたらストレッチをしたり、シャワーを浴びたり、好きなヨーグルトを食べたりと工夫しています。朝型体質に変えたいです。

(美深町・女性)



・日々の幸せな暮らし。朝起きて、太陽の光をたっぷり浴びて、畑で一生懸命汗ながして働いて、おいしいものを食べておいしいお酒を飲んでぐっすり寝る。人間が「生きてるう」って感じられるそんな生活は変えられないし変えたくないです!!

(美瑛町・女性)

・毎日の仕事と出役(臨時の他の職務)に追われているので、時間のゆとりを作りたい。「変化を恐れない気持ち」は変えずにいたい。

(深川市・男性)

食生活を楽しく・健康的に！

・変えたくないことは、おいしいものが食べられる環境の維持。

(江別市・男性)

・変えたいことは、農家の特権で新鮮な野菜が食べられるのに、料理のレパートリーが無く同じメニューばかりローテーションしてしまうこと。変えたくないことは家族揃ってご飯を食べること。どんなに遅い時間になっても帰りを待って一緒に食事をしながらその日の出来事を話す時間は結婚してからずっと変わらないので、子どもができて生活は変わってもこれはこれからも変えたくないことです。

(南富良野町・女性)

・変えたいことは、ムダを無くしたい。冷蔵庫の中の食品は捨てないようにしたい。変えたくないことは、生活を楽しむ。外食。友達と会うこと。

(せたな町・女性)



アグリ・フォト

PHOTO

投稿いただいた何げない日常の風景をお届けします。



人参畑の蛙ちゃん、まだまだ元気ですよ♪  
かえる  
札幌市・女性

上はアグリポートVOL43(2023年6-7月号)に掲載の写真で当時は3年目。現在(下)は4年目だそう。



ブルーベリー摘み楽しいな☆  
北見市・女性



黄色いスイカのお友達  
栗山町・女性



夏!旬!  
せたな町・男性



いつも元気な農業女子!!  
美瑛町・女性

**あなたの作品を大募集!**  
写真・川柳をぜひお寄せください

趣味、活動、料理、ペットなどあなたの日常を撮影した写真やイラスト、忙しい作業のなかで感じた川柳などあなたの作品をアグリポートにお送りください。採用された方には粗品を進呈します。なお、投稿いただいた写真はアグリポートの誌面づくり以外の目的には一切使用しません。ぜひお気軽にお寄せください。

**写真の応募:** スマートフォン・パソコンで読者アンケート回答ページにアクセスすると写真投稿欄がありますので、そこから投稿できます。

**川柳の応募:** 裏表紙の応募FAX、またはインターネットでご応募できます。

こちらのアドレス・2次元コードからアクセスいただけます。



<https://jp.surveymonkey.com/r/WN9K8YT>

**SENRYU**

農業なんでも川柳

農作業や暮らしのことを川柳に。

日頃の農作業や暮らしのことを川柳にしてお寄せください。作品が紹介された方には粗品を進呈します。

働く手は人柄がにじんでいて素敵です。(編)

荒れた手を 働き者ねと ほめられて  
(江別市・女性)

今年も天気予報を見るたびに祈る思いでした。(編)

台風よ 稲刈り前は 来ないでね  
(江別市・男性)

この暑い中での生命力こそがうまさの元なんです。(編)

夏野菜 畑です でに 温野菜  
(長沼町・女性)

こんなお手伝いがいたら空から陸から大活躍ですね。(編)

求人を カラスやキツネに 出せたなら  
(鹿追町・女性)

実は、これが一番おいしいかもしれません!(編)

腕振るう はね品野菜 愛込めて  
(美深町・女性)



品目別に、基礎的な内容から新技術まで学ぶことができる  
担い手向け Web 研修を実施しています。

この機会に、基礎から学んでみませんか？

また、女性農業者に向けた研修も実施します。

詳細や募集は、Webページから確認できます▶



お問い合わせは、直接、またはお近くのJAを通じて、  
ホクレン各支所営農支援室 か、営農支援センター・営農支援推進課 まで

## 編集後記 From Editor

今回の特集企画制作にあたり、J-クレジット制度について勉強しましたが、調べれば調べるほど知らない単語がどんどん出てきて、しかもカタカナやアルファベットがたくさんで、分からないことが増えていき…くじけそうでしたが、取材の際に、制度に取り組んでいる方々からお話を伺ってやっと理解できました！当たり前ですが、詳しい方にお話を聞くのはとても勉強になりますね。今号の「実例で学ぶ達人の知恵」の達人もおっしゃっていましたが、「人と会って話すこと」はどんな状況であってもとても大切なことだと思います。自分ひとりで取り組んでいたら確実にくじけてしまうことも、周りとお話をすることで、やる気が出たり、自分にはない考え方や新たな疑問に気づいたり、先に進むことができると実感しました。(M.S)



ホクレンの営農情報誌  
**アグリポート**  
2024.12-2025.1  
VOL.52

編集 ホクレン農業協同組合連合会  
農業総合研究所 営農支援センター  
営農支援推進課内 アグリポート編集部

## P R E S E N T 読者プレゼント

応募締切 2025年1月31日(金)

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントを差し上げます。裏表紙の記入欄に必要事項をご記入のうえFAX するか、またはパソコン・スマートフォンの応募フォームからご応募ください。

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### A 株式会社オホーツククリーンミート「おこっぺハム セット」10名様

今号の「道産品のカタチ」(P13～14)で掲載している「ベーコン」をはじめ、おこっぺハムのおいしさが味わえる商品をセットにしてプレゼントします。

<セット内容>

※商品内容は変更になる場合があります。

あらかじめご了承ください。

- ベーコン(スライス)(95g×2)
- ロースハム(スライス)(95g)
- おこっぺウィンナー(280g)
- バジリコフランク(240g)

<保存方法>

要冷蔵(10℃以下)



※写真はイメージです



### B 表紙コーディネート Sサイズ、Mサイズ、Lサイズ、XLサイズ 合計4名様

表紙で使用されたニット(女性用フリーサイズ)とベストをセットでプレゼントします。ベストのサイズは、女性用S・M・L・XLとなります。

応募用紙または応募フォームにご希望のサイズをご記入ください。

本誌に掲載されている商品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

編集部より

編集部では、さまざまなご意見、ご要望、厳しいご指摘も含め誌面に反映させていきたいと思っております。ぜひ、あなたのご意見をお聞かせください。

# 読者アンケートのお願い 皆さんのお役に立つ誌面づくりのために、ぜひあなたの声をお寄せください。

※お送りいただいたご意見は「Agri Square」コーナーに掲載させていただくほか、誌面づくりに反映させていただきます。

プレゼントのご応募・ご意見は FAX かパソコン・スマートフォンで

応募締切:2025年1月31日(金)

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



ご応募は  
こちらから

FAX ご応募先 **011-742-9202** | パソコン・スマートフォンご応募先  
<https://jp.surveymonkey.com/r/WN9K8YT>

郵送でのご応募も可能です。〒060-0906 札幌市東区北6条東7丁目375番地 ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

## [プレゼント応募記入欄] 下記の内容をご記入ください。

※お名前・ご住所・お電話番号は商品発送時に使用いたしますので正確にご記入願います。

<p>お名前 _____</p> <p style="text-align: center;">性別：男・女      年齢      歳</p> <p>ご住所 _____</p> <p style="text-align: center;">〒      -</p> <p>お電話番号 _____</p>	<p>ご職業 _____</p> <p>1. 生産者    2. 系統職員    3. その他 (      )</p> <hr/> <p>ご職業で「生産者」とお答えの方の営農形態は？ ※該当するもの全てに○をつけてください。</p> <p>1. 稲作      2. 畑作      3. 園芸      4. 酪畜</p> <p>5. その他 (      )</p> <hr/> <p>ご希望のプレゼント ※ A・B いずれかに○印をご記入ください。</p> <p><b>A</b> おこっぺハム セット</p> <p><b>B</b> 表紙コーディネート 希望サイズに○印 ( S・M・L・XL )</p>
---	---

## [アンケート回答書] 下記の質問にお答えください。

Q1. 誌面で興味深かった記事はどれですか？ ※複数回答可

- 0. 表紙
- 1. あの人のビューポイント
- 特集 農業の新たな価値「環境」
  - 2. Q&A でわかる J クレジット
  - 3. 取り組みやすい方法論 中干し期間の延長に注目
  - 4. 環境配慮を商品価値にした玉ねぎ「環」
- 道産品のカタチ
  - 5. 株式会社オホーツククリーンミート「おこっぺハム ベーコン」
- よくわかる 酪農畜産の SDGs
  - 6. 自給飼料の活用で環境を守り、コストダウン ( コーンサイレージ多給 )
- 実例で学ぶ達人の知恵
  - 7. 畑を観察し、積み重ねた実践が成果に
- ホクレンくみあい飼料株式会社 枝肉勉強会
  - 8. 販売先の拡大までを意識し 北海道の和牛生産にさらなる発展を
- 情報 CLIP
  - 9. ホクレン訓子府実証農場の視察・研修の受入れ状況
  - 10. 農業コスト低減に「直送大型規格」と「ジェネリック農業」
  - 11. かぼちゃつる切りデバイダー(KC-1400P)の販売を開始しました
- これって何デスカ？
  - 12. 「心土破碎」とは何ですか？
- Agri Square
  - 13. 読者の皆さんからの声
  - 14. アグリポーター REPORT
  - 15. 読者アンケート
  - 16. アグリ・フォト
  - 17. 農業なんでも川柳

Q2. 今号の満足度をお答えください。

非常に良い    良い      普通      悪い      非常に悪い

●-----●-----●-----●-----●

Q3. 今後取り上げてほしいテーマをご記入ください。

Q4. 「この人がいて助かった！」と思ったエピソードを教えてください。

Q5. ご意見・ご感想・改善点などをご記入ください。

Q6. 「これって何デスカ？」コーナーで聞いてみたい疑問・質問をご記入ください。

<農業なんでも川柳>応募欄

※ご職業で「1. 生産者」と記入された方には、別途「読者モニター アグリポーター募集」のご案内をさせていただく場合がございます。  
※お送りいただいたお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は商品の発送、誌面づくりの基礎データとしての目的以外には一切使用いたしません。個人情報は厳重に保管・管理し、漏洩、滅失、毀損の防止、そのほか安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるよう努めます。また第三者への提供・開示などは一切いたしません。